

**郡上市の高齢者虐待への対応件数  
(過去3年間)**

年度	対応件数
2019年度 (令和1年度)	14
2018年度 (平成30年度)	11
2017年度 (平成29年度)	6

高齢者への虐待は、主に介護疲れや人間関係の悪化、経済的困窮などが原因で起こると言われています。

郡上市内において高齢者虐待に関する連絡を受け、市の地域包括支援センターで対応した件数は次の通りとなります。

**地域で防ごう！  
高齢者虐待！**



虐待の定義	
身体的虐待	叩く、つねる、殴る、身体を縛る など
介護・世話の放棄・放任	十分な食事を摂っていない、必要とする医療を受けさせない など
心理的虐待	怒鳴る、ののしる、話しかけを無視するなど
性的虐待	裸にして放置する、性的行為の強要 など
経済的虐待	生活上必要なお金を渡さない、資産を勝手に使う など

認知症が高齢者虐待の発生に関係することが、国による調査で明らかになっていきます。認知症の「行動・心理症状」には、幻覚、妄想、興奮、徘徊などがあります。介護する家族がその状態を理解できなかったり、介護の方法がわからないために、介護負担が大きくなるとなりやすいため、虐待の要因になりやすいつまわれれています。

虐待の定義は表の通り、さまざまな行為が含まれます。

**認知症と  
高齢者虐待の関係**

**相談・連絡先**  
健康福祉部高齢福祉課  
☎67-1807 (直通)  
郡上市地域包括支援センター  
☎67-0008 (直通)



高齢者虐待は特定の人や家族に起こるわけではなく、誰にでも起こる可能性があります。

また、一般的に高齢者虐待は外からは見えにくいところ起こるため、介護する家族などが地域で孤立すると深刻な事態に陥ることがあります。

介護や福祉、医療にかかわる人はもとより、地域のみならずが高齢者虐待に早期に気づき、支援者となっていただくことが虐待被害の抑制につながります。今後ともご協力をお願いします。

**気づいたらすぐ連絡を！**

**水の事故を防いで川を安全に楽しむために！**

8月に入り、暑さの厳しい日が続いています。涼しい場所を求め、釣りや川遊び、河川敷でバーベキューなど河川に出かける機会が増えると思います。

昨年、市内の水難事故は8件発生し、うち死亡事故は6件で6名が亡くなっています。川の事故を防ぐために次のことに気を付けましょう。

**自然を甘く見ず、無理をせず**

昨年の死亡事故のうち4名は釣り人によるものです。川の中で転倒したり、深みにはまったり、道具を守ろうとして流されたりすることが考えられます。家族はあなたが無事に帰ってくるのを待っています。無理はせず、安全に釣りを楽しんで家族のもとへ帰りましょう。

**ライフジャケットの着用**

ライフジャケットを着用していれば、万が一溺れても、顔が水面から出た状態になる

**天候や川の変化に注意**

自分がいる場所が晴れていても上流で大雨が降っているかもしれません。落ち葉やごみが流れてきたり、濁ってきたりしたら川から上がり安全な場所へ避難しましょう。川の変化や雷など天候に注意しましょう。

【みなさん一人ひとりが安全を意識して楽しく河川でのレジャーを楽しみましょう。】

**郡上市消防本部**

ので呼吸ができます。特に子どもは川の危険が分からず、深みにはまり溺れる可能性があります。ライフジャケットを着用していれば、流されても浮いて助けを待つことができます。ライフジャケットは『川のシートベルト』です。大人も子どもも着用しましょう。

**消防本部**  
☎ 67・0119